5/30

安保粉砕・NATO粉砕・ベトナム革命勝利

アジア侵略・反革命"ASPAC"粉砕闘争に総決起せよ！

6・6 御堂筋デモ＝現地

共産主義者同盟・共青同・社学同

愛知外相訪米阻止の闘いに決起された労働者、学生諸君！わが共産主義者同盟、共産主義青年同盟社会主義学生同盟は、当面する帝国主義の侵略・反革命の最大の環である"ASPAC"粉砕闘争への総決起を呼びかけます。

アジア侵略、反革命への道「ASPAC」を粉砕せよ！

五月二十日から二十二日にわたってタイのバンコックで開かれた二つの会議＝SEATO、ベトナム参戦国会議＝は、アジアの70年代を暗示している。それは米帝を軸とした戦后アジア、極東の「反共、自由諸国の軍事枠組」＝SEATOの生命が終り、ベトナム参戦国間の動揺と不統一が明らかとなった。

「反共、自由諸国」の団結は、日本帝国主義をより中心へすえた新しい団結へ編成されようとしている。ASPAC－PATOの軍事戦略構想と沖縄の軍事拠点の一体的な結合のコースこそが、70年代アジアの「反共、自由諸国」の侵略、反革命の環に他ならない。

われわれに向われている根本的選択＝帝国主義の侵略、反革命戦争への屈服か、それと対決する革命戦争への決起か！

70年安保が、日米両帝国主義の共同の侵略、反革命の拠点であるが、その中味がすでに70年代に向けて整備され、そして日本帝国主義がアジア侵略、反革命の主柱へと歩を進めている事実は、われわれの前に「『自国の発展』の名の下の侵略、反革命戦争への屈服か、それと対決する労働者人民の革命戦争への決起か」を問うている。

自衛隊の海外派兵の第一歩＝沖縄派兵、マラッカ海峡周辺での海上自衛隊の演習など、この間の軍事的な動向は、一方での国益＝日本資本主義の海外進出に伴う交通ル＝トの確保、海外財産の防衛↓アジアの「平和と安全維持」＝をめぐる論議と共に、侵略、反革命への「国民統合」へと具体化されている。

われわれにとって、問題の根本は常に「帝国主義の発展と勝利に基づく『自国の発展』が問題なのではなく、『帝国主義者への労働者人民の勝利』のみが問題である」ことなのだ。

帝国主義者の70年代への展望が、どのような美辞にもかかわらず、労働者人民の抑圧の強化を結果し、その軍隊と武器は唯一労働者人民にのみ向けられている。

われわれの選択は、帝国主義の存在とその意図への対決であり、その戦略と軍隊への対決であり、それは又、全世界労働者人民の国境を超えた連帯である。

帝国主義者の「侵略、反革命戦争への道」に、「世界革命戦争＝帝国主義打倒」を対置せよ！

われわれの闘いは予感であり全人民的である

二十カ月にわたる公然たる暴力闘争は、何よりも全人民的な闘いであることを証明している。そして全人民の噴激が不屈であり、帝国主義世界の根底から生み出されたものである。大学立法、入管法をめぐる再度の巨大な波の始まり。この対決は、世界革命戦争へ向けた全人民の武装と帝国主義打倒によってのみ解決するだろう。

この階級対階級の対決を「国民的団結」、「民族的団結」にすりかえることを許すな。帝国主義者への「平和的取り引き」や「哀願」による「一時的な平静」への幻想を許すな。

ASPAC＝6、6御堂筋↓現地闘争へ

本日の闘いに決起した労働者、学生諸君！帝国主義の侵略・反革命の環"ASPAC"粉砕闘争に、現下の攻撃の軸を定め、6、6御堂筋↓現地闘争へ総決起せよ。

〈連絡先〉大阪府福島区鷺洲本通一－十六 北村ビル戦旗社 458 6397